

神戸

当事者の体験を知り
思いを「語り合い」
吃音と向き合う。

吃音のつどい
きつおん

12月14日(土) 13:30-16:30

会場:兵庫県中央労働センター 視聴覚室

(JR・阪神元町駅 徒歩10分/地下鉄県庁前駅徒歩5分/阪急花隈駅徒歩5分)

参加費 300円

対象 吃音のある人、吃音のある子どものご家族(保護者など)

言語聴覚士など吃音のある人の支援者、吃音に関心のある人

定員 50名を予定(要申込)

13:40-14:30

吃音と共に
豊かに生きるために

言友会の紹介と
当事者の体験発表

14:40-15:30

吃音について
大いに語り合おう!

グループトーク①

15:40-16:20

神戸言友会設立
に向けて

グループトーク②

主催 NPO法人 全国言友会連絡協議会

後援 神戸市、兵庫県教育委員会、兵庫県言語聴覚士会
日本吃音・流暢性障害学会(申請中含む)



神戸 吃音のつどい

プログラム

13:00-13:30 開場・受付

13:30-13:40 開会あいさつ

13:40-14:30 言友会の紹介と
当事者の体験発表

吃音のある人の自助団体である・「言友会」について紹介しながら、会員が日常生活での吃音に関する経験を語ります。

14:30-14:40 休憩

14:40-15:30 グループトーク①

自由にテーマを設けて、参加者同士で吃音についての体験や考えを語り合しましょう！

15:30-15:40 休憩

吃音 (きつおん) とは

吃音は、「スムーズに話せないこと」で、かつては「どもり」とも呼ばれていました。しかし、吃音によって引き起こされる問題は「スムーズに話せないこと」そのものだけではなく、吃ることを恐れるあまり、話すことに消極的になってしまい、場合によっては深刻な社会不適応に発展していくことだとされています。そのため、表面的な症状の重さと、心理的な悩みの深さは必ずしも一致しません。だからこそ、周囲の理解が必要とされているのです。

言友会は、吃音のある人のセルフヘルプグループ（自助団体・当事者団体）として、1966年に発足しました。個々の吃音体験を分かち合う「例会」を中心として、会報の発行や吃音に対する理解を深めるためのイベント開催などの取り組みを通して、会員それぞれが「**吃音があっても豊かに生きる**」ための方法を見つけるべく、現在では全国30カ所以上で活動しています。

兵庫県内では、姫路言友会が活動していますが、人口が集中している県東部には活動拠点がまだありません。そのため、この「神戸・吃音のつどい」を企画しました。将来的には、「**神戸言友会**」の発足を目指しています。

「**吃音があっても豊かに生きる**」ことのできる選択肢をもっと多くの人に広げるために、是非ご参加ください。

言友会

(げんゆうかい)

とは



15:40-16:20 グループトーク②

「神戸言友会設立に向けて」
したいことや望むことを
語り合しましょう！

16:20-16:30 終わりの会
閉会あいさつ

【参加方法】

<https://www.kokuchpro.com/event/5e30141a5fc20c95463c26d52140ef58/>

から事前にお申し込み下さい。



【お願い】

・会場の駐車場の数が限られていますので、公共交通機関を利用してお越し下さい。

・お問い合わせは、info@zengenren.orgまでお願いします（担当：斉藤）。